



再生・細胞医療が届く未来に向けたキックオフ宣言

我々は、「失われた体の細胞や機能を回復する」未来の医療、再生・細胞医療の産業化を世界に先駆けて実現し、患者に希望を届け、経済活性化の起爆剤にします！

ここ殿町では、神奈川県が、これまでヘルスケア・ニューフロンティア政策において、最先端医療・最新技術の追求の中核事業として再生・細胞医療の産業化に取り組んできました。

その取組を推進するため、県主導で再生・細胞医療の産業化の拠点として、ライフイノベーションセンター（L I C）が平成28年8月に開所されるとともに、産学公の多様なプレイヤーの連携によるバリューチェーン構築に向けて、平成28年10月に設置した「かながわ再生・細胞医療産業化ネットワーク（RINK）」が、令和5年1月に一般社団法人化しました。

令和5年6月からは、殿町／羽田地区において、企業やアカデミア、国等が連携して、臨床応用から社会実装につなげる東日本の再生医療ネットワークが動き出します。

今後は、我々「一般社団法人R I N K」が、東日本の再生医療ネットワークのコーディネイト役となります。そして、殿町・羽田地区に集積している企業や関係機関等が連携し、細胞の評価に関する研究や羽田地区の臨床の場を活用しながら、細胞の確保・培養から臨床応用までを一気通貫で行うことで、再生・細胞医療の産業化を加速させ、近い将来、再生・細胞医療を必要としている患者の皆様へ届けることを、ここに宣言します。

令和5年6月7日

一般社団法人R I N K